



2026年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月14日

上場会社名 クックビズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6558 URL <https://corp.cookbiz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪ノ 賢次
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 餌取 達彦 TEL 06-7777-2133
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第1四半期の連結業績（2025年12月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第1四半期	694	△10.1	△34	—	△38	—	△24	—
2025年11月期第1四半期	772	△14.0	△84	—	△87	—	△107	—

(注) 包括利益 2026年11月期第1四半期 △24百万円 (—%) 2025年11月期第1四半期 △107百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第1四半期	△8.70	—
2025年11月期第1四半期	△38.39	—

(注) 株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期第1四半期	3,411	1,026	29.8
2025年11月期	3,618	1,098	28.8

(参考) 自己資本 2026年11月期第1四半期 1,018百万円 2025年11月期 1,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年11月期	—	—	—	—	—
2026年11月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2026年11月期につきましては、現時点で当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,240	13.3	80	—	60	—	80	—	28.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年11月期 1 Q	2,795,041株	2025年11月期	2,795,041株
② 期末自己株式数	2026年11月期 1 Q	7,054株	2025年11月期	7,054株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年11月期 1 Q	2,787,987株	2025年11月期 1 Q	2,787,987株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2026年4月14日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、主に飲食業界に特化した人材サービス及び投資事業による水産物の冷凍加工業・惣菜等の食品加工業を展開しております。

当社は2007年の創業以来、一貫して飲食業界に特化した人材サービスを展開してまいりました。2024年12月には、事業の方向性を明確化し、食産業の発展のためには「人」がもっとも大事であるという事業の原点に立ち返り、新たなミッション・ビジョンを制定いたしました。

ミッション：「食」は「人」

ビジョン：「Empower the Food People」

当社グループは「人」を起点に築いてきた事業をさらに成長させながら、2020年の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミックによる影響を背景に進めてきた「人」ビジネスを礎とする事業の多角化を模索してまいりました。こうした変化のなかで、今後は新たな事業領域に挑戦し、積極的な投資を通じて事業規模を拡大させてまいります。

具体的には、従来の「飲食(外食)」領域から、小売・流通・製造等を含む広義の「食産業」全体へと事業ドメインを拡大し、さらなる企業価値の向上と収益基盤の強化を推進してまいります。こうした戦略を一段と加速させるべく、2025年12月には大手食品スーパーグループとの資本業務提携を締結いたしました。

当第1四半期連結累計期間におきまして、当社グループは前連結会計年度からの最優先課題である収益基盤の正常化に注力してまいりました。

HR事業では、前連結会計年度の業績低迷の主因となったマーケティング施策のミスマッチを解消すべく、2025年度上期の施策をベースとした運用体制への切り替えを断行いたしました。戦略転換に伴う端境期や季節的な閑散期の影響を受け、売上高は低調に推移したものの、足元では先行KPIに明確な改善の兆しが見え始めております。

投資事業では、きゅういち株式会社において、不採算取引の見直しと事業モニタリング強化に努めてまいりました。戦略的な事業絞り込みにより売上高は前年同期比で減少したものの、6四半期ぶりとなる営業黒字を実現いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は694,729千円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

損益面におきましては、徹底したコスト構造改革により損益分岐点が低下し、営業損失は34,027千円(前年同四半期は営業損失84,043千円)と、減収局面においても前年同期比で大幅に赤字幅を縮小いたしました。なお、経常損失は38,532千円(前年同四半期は経常損失87,689千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は24,266千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失107,031千円)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①HR事業

HR事業は、クックビズ株式会社において、飲食業界に特化した求人情報サイト「cookbiz」を運営しており、当該サイトを通じて、コンサルタントを介した有料職業紹介を行う「人材紹介サービス」、求人情報を求職者に提供する「求人広告サービス」、ダイレトリクルーティングサービスを提供する「スカウトサービス」を展開しております。また、連結子会社ワールドインワーカーによる特定技能外国人人材紹介・登録支援等の事業及び研修サービス、CAST事業等を「その他」に分類しております。

当セグメントにおきましては、戦略転換に伴う集客構造の再構築期間であったことや、季節的な閑散期が重なったことにより、売上高は389,634千円(前年同四半期比6.9%減)となりました。

損益面につきましては、コスト構造の抜本的な見直しにより、セグメント損失は40,314千円(前年同四半期はセグメント損失73,671千円)に留まり、売上高が減少する中でも損益分岐点の引き下げによる筋肉質なコスト構造への転換が着実に進展いたしました。

こうした収益基盤の強化と並行して、集客から成約に至る全工程を抜本的に見直し、足元では応募数や面談化率といった重要KPIに改善の兆しが見え始めており、下期以降の速やかな収益回復に向けて体制構築を加速させております。

※ cookbiz：当社は人材紹介サービス及び求人広告サービスともに「cookbiz」の同一ブランドにて展開してまいります。

②投資事業

投資事業におきましては、きゅういち株式会社においてホタテ・ホッケ・サバ等の冷凍加工業を行うほか、前連結会計年度第4四半期より新たにグループに加わったマルヒロ太田食品株式会社において、コロッケを中心とした惣菜の製造販売事業を展開しております。

きゅういち株式会社においては、不採算取引の見直しと事業モニタリング強化により、取引別の粗利管理が厳格化されました。戦略的な事業絞り込みに伴い売上高は減少したものの、収益性は劇的に改善し、6四半期ぶりとなる営業黒字を達成いたしました。

前連結会計年度第4四半期より新たにグループに加わったマルヒロ太田食品株式会社においては、当四半期が季節的な閑散期に該当いたしました。百貨店催事への出店や自社ECサイトの新規開設による販路拡大に注力し、業績推移そのものは概ね想定範囲内であったものの、当四半期の利益面においては一時的な押し下げ要因となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は310,645千円（前年同四半期比13.3%減）となりました。損益面では、マルヒロ太田食品株式会社における季節的要因による損失を、きゅういち株式会社の利益成長により吸収し、セグメント利益6,436千円（前年同四半期はセグメント損失10,371千円）と黒字化を実現いたしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ206,998千円減少し、3,411,087千円となりました。その主な要因は、商品及び製品が70,384千円、売掛金が57,967千円それぞれ増加したものの、現金及び預金が291,505千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ135,527千円減少し、2,384,132千円となりました。その主な要因は、買掛金が94,647千円増加したものの、短期借入金が100,000千円、長期借入金が85,526千円、契約負債が42,877千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ71,471千円減少し、1,026,954千円となりました。その主な要因は、新株予約権が47,201千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が24,266千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2025年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,863,306	1,571,801
売掛金	253,175	311,142
未収入金	956	1,045
商品及び製品	348,770	419,155
原材料及び貯蔵品	29,183	28,600
前払費用	34,931	32,589
その他	72,498	68,596
貸倒引当金	△2,491	△2,294
流動資産合計	2,600,330	2,430,636
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	144,143	139,169
機械装置及び運搬具(純額)	193,853	186,848
工具、器具及び備品(純額)	17,785	17,311
土地	126,633	126,633
リース資産(純額)	10,259	22,868
建設仮勘定	513	—
有形固定資産合計	493,188	492,829
無形固定資産		
商標権	953	920
ソフトウェア	377,172	352,951
のれん	41,960	40,562
その他	149	149
無形固定資産合計	420,236	394,584
投資その他の資産		
投資有価証券	58	53
敷金及び保証金	67,989	68,202
繰延税金資産	31,581	19,833
その他	4,701	4,947
投資その他の資産合計	104,330	93,037
固定資産合計	1,017,756	980,450
資産合計	3,618,086	3,411,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,046	109,693
未払金	102,125	105,430
未払費用	109,453	108,976
短期借入金	256,500	156,500
1年内返済予定の長期借入金	372,793	369,805
未払法人税等	13,871	6,080
未払消費税等	8,673	20,928
契約負債	116,382	73,504
預り金	19,637	21,557
リース債務	4,419	7,564
賞与引当金	48,657	27,106
返金負債	3,136	2,396
その他	—	2,464
流動負債合計	1,070,696	1,012,008
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,370,693	1,285,167
リース債務	7,868	18,408
退職給付に係る負債	—	1,169
資産除去債務	27,575	27,632
繰延税金負債	12,826	9,745
固定負債合計	1,448,963	1,372,123
負債合計	2,519,659	2,384,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,273	762,273
資本剰余金	755,273	755,273
利益剰余金	△474,827	△499,094
自己株式	△273	△273
株主資本合計	1,042,445	1,018,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△4
その他の包括利益累計額合計	△0	△4
新株予約権	55,981	8,780
純資産合計	1,098,426	1,026,954
負債純資産合計	3,618,086	3,411,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
売上高	772,984	694,729
売上原価	340,605	247,687
売上総利益	432,378	447,041
販売費及び一般管理費	516,422	481,068
営業損失(△)	△84,043	△34,027
営業外収益		
受取利息及び配当金	906	1,611
受取賃貸料	1,120	1,680
その他	310	605
営業外収益合計	2,337	3,897
営業外費用		
支払利息	5,886	7,444
その他	96	957
営業外費用合計	5,983	8,401
経常損失(△)	△87,689	△38,532
特別利益		
新株予約権戻入益	—	27,784
特別利益合計	—	27,784
特別損失		
固定資産除却損	1,537	—
災害損失	—	1,540
特別損失合計	1,537	1,540
税金等調整前四半期純損失(△)	△89,227	△12,288
法人税、住民税及び事業税	△31	3,309
法人税等調整額	17,835	8,668
法人税等合計	17,804	11,978
四半期純損失(△)	△107,031	△24,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△107,031	△24,266

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
四半期純損失(△)	△107,031	△24,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△3
その他の包括利益合計	—	△3
四半期包括利益	△107,031	△24,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107,031	△24,270
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	35,994千円	40,680千円
のれんの償却額	1,398	1,398

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	HR事業	投資事業			
売上高					
外部顧客への売上高	414,574	358,409	772,984	—	772,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,900	—	3,900	△3,900	—
計	418,474	358,409	776,884	△3,900	772,984
セグメント損失(△)	△73,671	△10,371	△84,043	—	△84,043

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間の取引高相殺消去に係るものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	HR事業	投資事業			
売上高					
外部顧客への売上高	384,084	310,645	694,729	—	694,729
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,550	—	5,550	△5,550	—
計	389,634	310,645	700,279	△5,550	694,729
セグメント利益又は損失(△)	△40,314	6,436	△33,877	△150	△34,027

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△150千円の内容は、セグメント間の取引高相殺消去に係るものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。